

# 鹿児島県立博物館研究報告

第18号 (平成11年)

BULLETIN OF THE KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

No 18 (1999)

---

廣森 敏昭：1998年7月口永良部島の昆虫類	1
廣森 敏昭：1998年10月口之島の昆虫類	5
山下 秋厚：国分市街地の昆虫	11
所崎 聡・山元 幸夫：鹿児島県産鳥類リスト	21
寺田 仁志：口之島の植物相と現存植生	43
成尾 英仁：根占町大中原遺跡におけるテフラ層	79

---

Toshiaki HIROMORI : Insects of Kuchinoerabujima, Kagoshima Prefecture, surveyed in July, 1998	1
Toshiaki HIROMORI : Insects of Kuchinoshima, Kagoshima Prefecture, surveyed in October, 1998	5
Shūkō YAMASHITA : Insects of the Kokubu City Area	11
Satoshi TOKOROZAKI and Yukio YAMAMOTO : A list of Birds of Kagoshima Prefecture	21
Jinshi TERADA : Vegetation of Kutinoshima, Kagoshima Prefecture	43
Hideto NARUO : The Tephra Layers of Ohnakahara Archeological remains, Nejime Town Kagoshima Prefecture	79

---

鹿児島県立博物館

KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM  
KAGOSHIMA, JAPAN

## は じ め に

最近の博物館活動は、生涯学習の機会として従来にも増して市民の関心が高く、次第に市民参加型の活動が求められてきている。この活動を支えていくためには、学芸員の仕事として根っこのところにしっかりした調査研究が必要不可欠であり、それがなければ、真の発展はあり得ない。

博物館における資料の収集や調査研究は、博物館の他の事業の原動力になるものであり、これらが充実してこそ、展示活動も教育普及活動も魅力あるものになってくる。これまでの調査研究の成果をもとに、平成10年10月4日から11月25日まで実施した特別企画展「口永良部島の自然」では、1万人を越える来館者を迎え、好評であった。

鹿児島県立博物館では、これまでも調査研究を積極的に進めてきているが、今年度も、南西諸島をはじめ、県内の各地で調査研究を行い、その成果をここにまとめることになった。

ここに収録したものは、それぞれが日々こつこつと研究していたもの、移動博物館や自然リサーチなどの事業の機会を利用して調査したもの、共同研究なども含まれている。

限られた条件のもとでの調査研究であるので、これで十分ということはないが、これがさらに前進するための土台になればと考えている。

今年度から、自然資料整備事業（3年計画）が新たにスタートし、徳之島、沖之良部島、与論島での重点的な収集が行われたが、今後は、奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島、喜界島等で展開する計画である。これは21世紀初頭の奄美の自然資料として貴重なものになるが、これについては事業終了後整理して報告する予定である。

本書を多くの方々に御利用いただき、鹿児島県の豊かな自然や博物館の活動に対して理解を深めていただく一助となれば幸いである。

平成11年3月

鹿児島県立博物館  
館長 永喜久一

鹿兒島県立博物館研究報告  
第18号（平成11年）

発行日 平成11年（1999年）3月31日

発行所 **鹿兒島県立博物館**

〒892-0853

鹿兒島市城山町1-1 (Tel 099-223-6050)

(Fax 099-223-6080)

印刷所 青葉印刷有限会社

〒890-0045

鹿兒島市武二丁目31-2 (Tel 099-251-1821)